

**取り扱い注意事項** この説明書は、作業前に必ずお読みください。読んだ後は必ず保管してください。(自転車販売店の方はお客様に幼児座席の取扱いについて必ずご説明の上、お客様にお渡しください。)

⚠ 本書に使用しているイラストは操作方法や構造、仕組みなどを分かりやすくするため、現物とは多少異なる場合もあります。

●適用体重と身長：体重 15kg 以下、身長 100cm 以下 ●適用年齢：1 歳(12 ヶ月)以上 4 歳(48 ヶ月)未満のお子様 ●製品重量：4.4kg

⚠ 警告：専用のハンドルを備えた専用設計の自転車以外に取付けないでください。

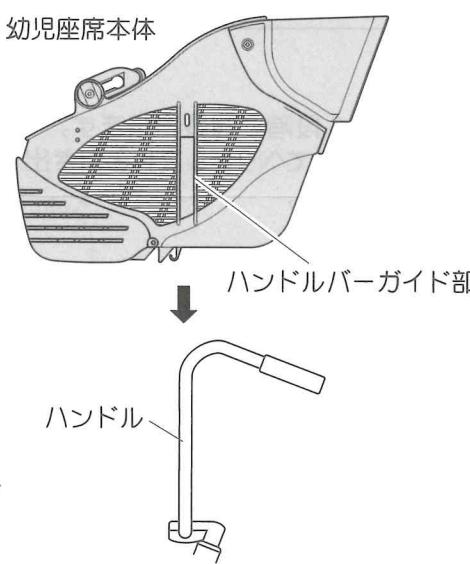
⚠ **警告** ●これは自転車用の前子供のせです。他の目的に使用しないでください。●取付け作業は自転車販売店で行ってください。●自転車に子供のせを取り付け、お子様を同乗させる事により、自転車のハンドル操作や走行安定性を損ない、ブレーキをかけた時には制動距離が長くなります。●使用する時は、ネジ等の緩みが無く取付けが確実である事を確認してください。又、破損、変形等したままで使用しないでください。●一本スタンドの自転車には取付けしないでください。必ず、ロック付の両立スタンドをお使いください。(ハンドルストッパーを備えた自転車に取り付けることが望ましい。)●ヘッドレストは、お子様が子供のせに着座した時に側頭部の保護部分が、お子様の頭部中心(耳の上)より高くなるように調整してください。●自転車のハンドルを上下する必要がある時は、必ず自転車販売店に相談してください。●自転車に取付ける子供のせは 1 つに限り、同乗せるお子様は 1 人に限ります。但し、幼児 2 人同乗用自転車の場合は、自転車販売店に相談するか、自転車の表示や取扱説明書で本製品が取付け可能な子供のせである事を確認の上、うしろ子供のせと合わせて 2 つ取付ける事ができます。●使用中、お子様の手足が届く範囲に自転車錠がある場合は、錠が作動する場合がありますので、その位置には充分注意してください。●お子様を事故から守る為にヘルメットを必ず着用させてください。ヘルメットを着用させない場合の事故は重傷になりますが、着用させた場合は軽傷で済む事が報告されています。又、運転なさる方も出来るだけヘルメットを着用してください。●ハンドルポストの限界標識線がフレームの中にかくれる状態で使用してください。●自転車に同乗せるお子様は一般的な自転車では 1 人、幼児 2 人同乗用自転車は前後に各 1 人に限り、使用できる幼児の年齢、体重及び身長の範囲を守ってください。●ハンドルポストの取付け位置に他のアクセサリーがある場合は取り外してください。●ペダルを漕いだ時、運転手の足が子供のせに触れないように、又タイヤに巻き込まれないように注意してください。

⚠ **注意** ●お子様を乗せたまま絶対に自転車から離れないでください。(目を離した瞬間に、転倒等で怪我をなさると大変です。充分ご注意ください。)●お子様を乗せたまま自転車から短時間であっても手を離さないでください。●お子様を乗せあらしする時は必ず平坦な場所でスタンドをロックして行ってください。●お子様を子供のせに乗せる時は荷物等を積んだ後に乗せ、おろす時は荷物等をあらす前にお子様をあらしてください。●お子様には必ず靴を履かせてください。●お子様を乗せる時には、お子様が正しい姿勢であることを確認し、特に足部が車輪等に巻き込まれないよう、その位置に注意してください。●シートベルトが車輪に巻き込まれないように注意してください。●お子様を乗せる時は付属のシートベルト(肩ベルト及び股ベルト)を必ず使用してください。●子供のせを雨ざらしにしないでください。●お子様の首にシートベルトがかかるよう注意してください。●乗車及び走行中はお子様がグリップをしっかりと握るように注意してください。●お子様が眠らないように注意してください。●走行中は急ブレーキ、急ハンドルは避けましょう。●悪路走行やアクロバット走行を行わないでください。●火気高温に近づけないでください。●ヨゴレは水を含ませた雑巾等で拭取ってください。シンナー・ベンジン等は付着させないでください。●シートベルトの寿命は約 2 年です。異常が無くても 2 年に一度、交換してください。(有料)●使用にあたっては交通法規を守ってください。●SG マーク制度は、子供のせの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。(新品で購入した日より 3 年間)●6 歳以上の児童を同乗させる事は道路交通法違反となり、違反の場合は SG マーク制度の対象外となる恐れがあります。●適合自転車、お子様の適用範囲の記載及び取扱説明書の記載を守らない場合には SG マーク制度の対象外になる恐れがあります。

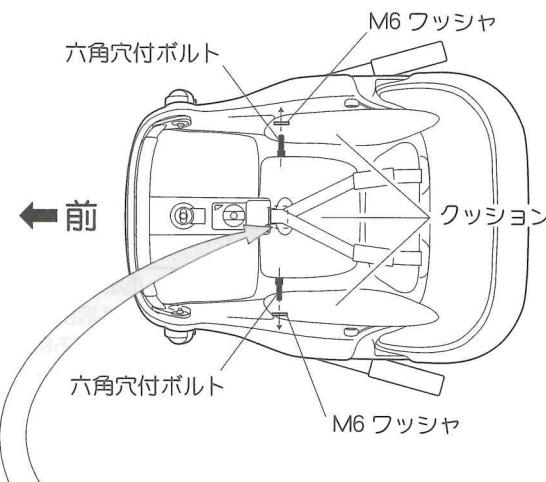
## 取付け方

⚠ 注意：ネジを締付けた時にネジ頭をつぶしてバリが出たりしないように作業してください。

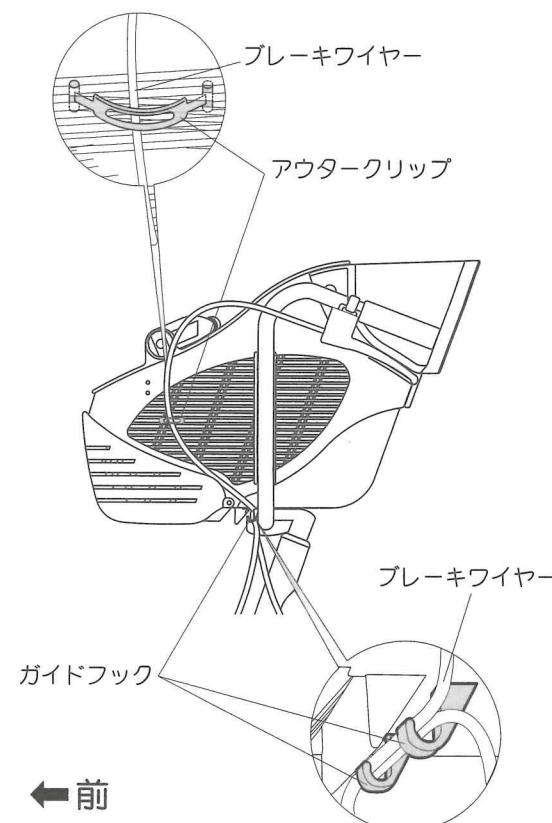
①幼児座席本体のハンドルバーガイド部をハンドル内側に合わせます。



②幼児座席内側より六角穴付ボルトと M6 フッシャーでハンドルに取付けます。幼児座席底面と M6 ト拉斯ネジと M6 フッシャーでハンドルシステムに止めます。

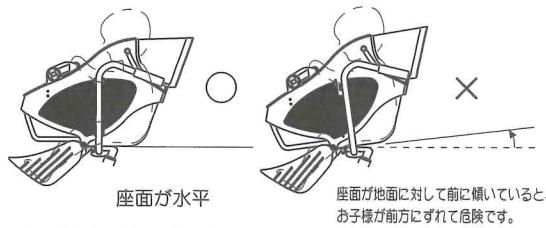


③ブレーキワイヤーをアウタークリップで幼児座席左右の側面にブレーキワイヤーが動く程度に取付け、底面はガイドフック部に通します。  
※左右とも同じです

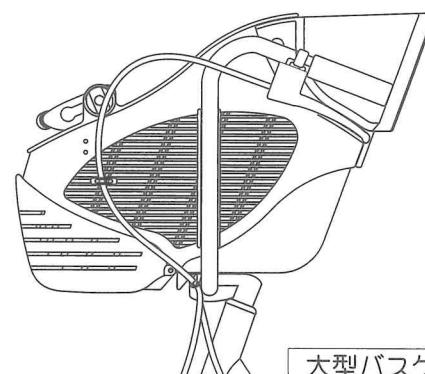
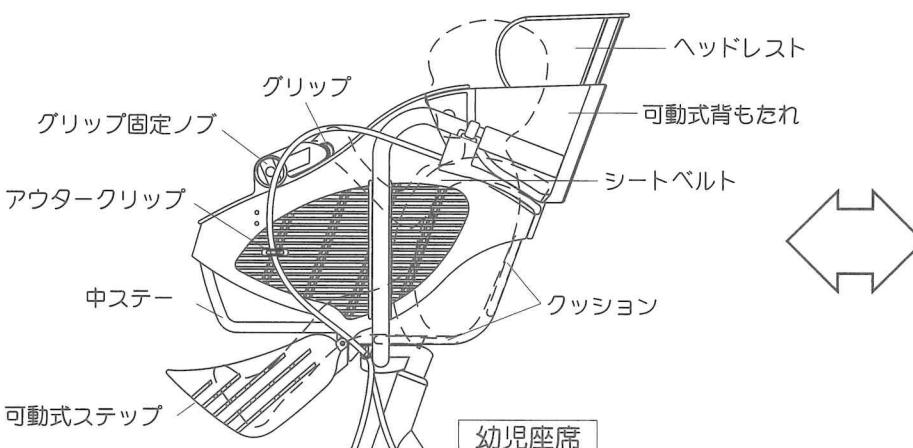


### 注意

自転車のスタンドを解除し、お子様を乗せた状態で幼児座席が、水平になっていることを必ず確認してください。

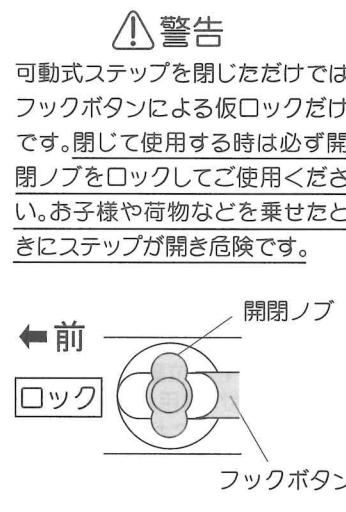
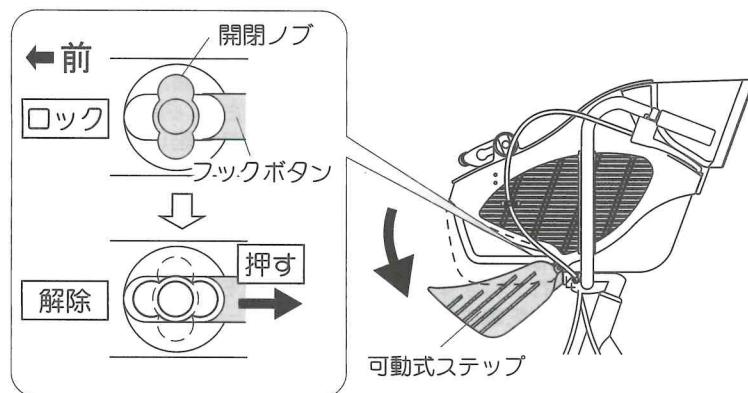


☆自転車用幼児座席HBC-005DX-MCは、操作により大型バスケットとしてもご使用いただけます。

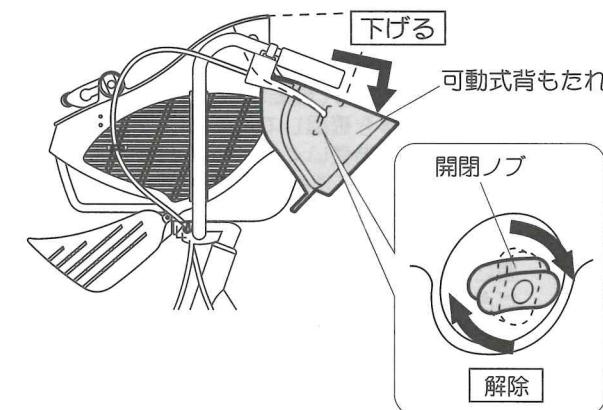


## 幼児座席として使用する場合

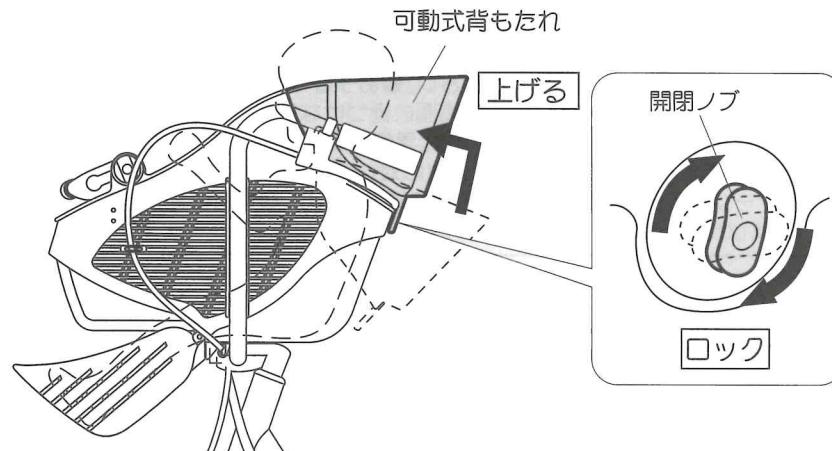
①幼児座席内側の開閉ノブを90度まわして、ロックを解除しフックボタンを後方に押して可動式ステップを下げます。



②可動式背もたれの開閉ノブを90度まわして、ロックを解除し、可動式背もたれを下げます。

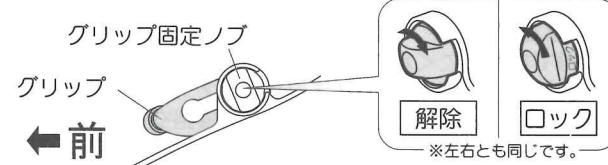


③可動式背もたれを上げ、開閉ノブを90度まわし、ロックします。

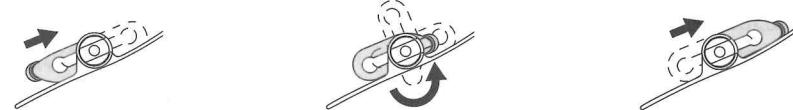


## グリップの移動

必要に応じてグリップを移動出来ます。グリップ両端のグリップ固定ノブを解除してグリップを移動し、再びグリップ固定ノブでロックします。



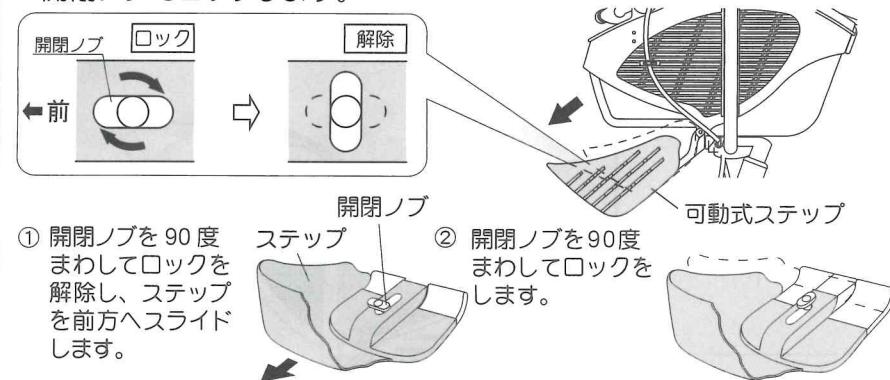
- ①グリップ固定ノブを90度まわし  
②グリップを下側を通って後方へ  
③グリップを後方へスライドさせ、グリップ固定ノブを90度まわしてロックします。  
※左右とも同じです。



## 可動式ステップの伸縮調整

必要に応じて可動式ステップの長さを2段階に調整出来ます。

可動式ステップ内側の開閉ノブを解除してステップを引き出し、再び開閉ノブでロックします。

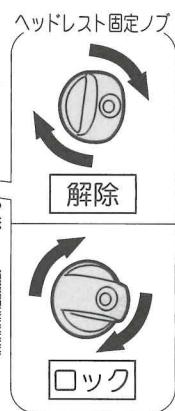
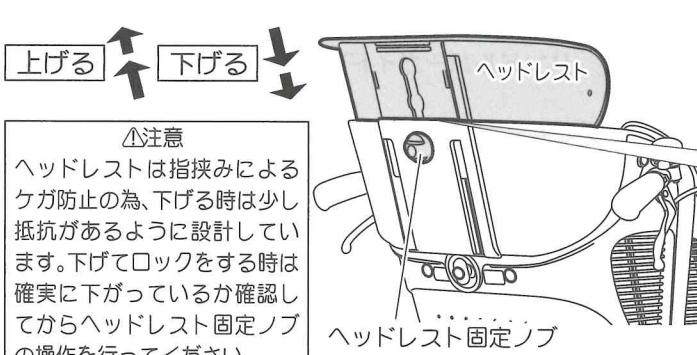


**△注意** ステップを引き出したままの状態では、安全の為バスケットの形態にはなりません。ステップを引き出す順序と逆の操作を行い、縮めてからバスケットとしてご利用ください。

## ヘッドレストの高さ調整

必要に応じてヘッドレストの高さを3段階に調整出来ます。

背面のヘッドレスト固定ノブを解除してヘッドレストを引き出し、再びヘッドレスト固定ノブでロックします。

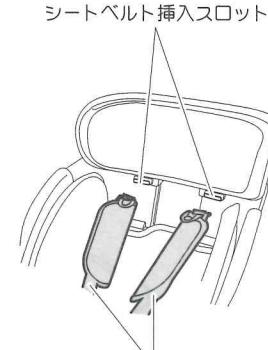
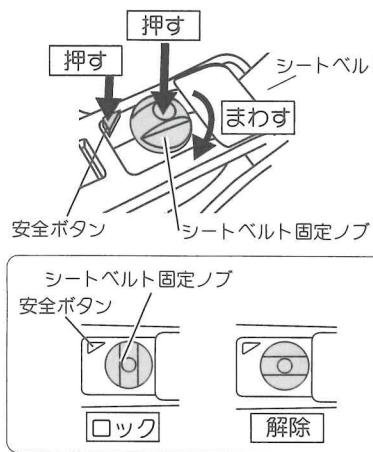


**△注意** ヘッドレストは、お子様が子供のせに着座した時に側頭部の保護部分が、お子様の頭部中心(耳の上)より高くなるように調整してください。

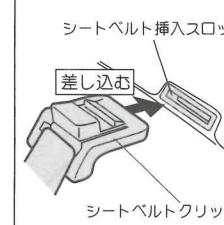
## シートベルトの着脱

**△注意** シートベルトは、ねじれの無いようにしてください。

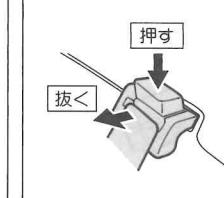
①幼児座席内側の安全ボタンを押しながらシートベルト固定ノブを90度まわし、シートベルトロックを解除してシートベルトを伸ばします。



**止める時**  
シートベルトクリップをシートベルト插入スロットに差し込みます。

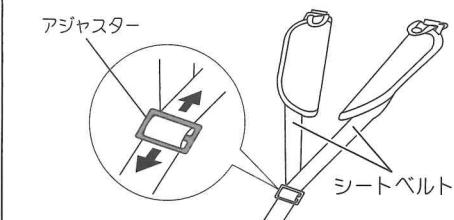


**外す時**  
シートベルトクリップの上部を押しシートベルト插入スロットから抜きます。



## 警告

- シートベルトクリップを差し込むときに、お子様の髪の毛などを挟まないように注意してください。
- 必ずシートベルト固定ノブがロックの状態になっていることを確かめてから走行してください。
- お子様を下ろす時は先にシートベルトを外してから可動式背もたれの操作を行ってください。
- シートベルトがあお子様の首にかかるないようにアジャスターで調整してください。アジャスターはお子さまの、おへそのあたりに来るのが理想です。



装着後は、必ずしっかりと固定されているか上下左右にゆすって確認してから走行してください。

●本書に使用しているイラストは操作方法や構造、仕組みなどを分かりやすくするために現物とは多少異なる場合もあります。●品質向上・改良の為予告無く仕様・デザインを変更する場合がありますので予めご了承ください。